



平成24年11月7日

各位

上場会社名 兵機海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 大東 洋治
 (コード番号 9362)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 田中 康博
 (TEL 078-940-2351)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、24年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	130	80	50	4.19
今回修正予想(B)	6,300	25	5	△25	△2.11
増減額(B-A)	△200	△105	△75	△75	
増減率(%)	△3.1	△80.1	△93.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	6,590	82	34	11	0.98

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	280	180	110	9.21
今回修正予想(B)	13,000	100	70	10	0.84
増減額(B-A)	△500	△180	△110	△100	
増減率(%)	△3.7	△64.3	△61.1	△90.9	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	12,976	174	84	41	3.45

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、内航事業において、主要取扱貨物である鋼材の国内需要が低迷したことから取扱量が減少し、固定費である傭船料の負荷が収益を圧迫することとなりました。外航事業では、外航船1隻を裸傭船から自主運航に切り替えたことで特別費用が生じたことと、厳しい国際運賃競争下で採算が厳しく、さらには荒天や荷役混雑による滞船等で運航収支が悪化しました。港運事業では、中国経済の減速による国際複合輸送業務の取扱が減少したことによって収益が悪化しました。倉庫事業では、神戸物流センターの寄与もあって、増収増益となりましたが上記三事業のカバーには及ばず、第2四半期の売上高・営業利益・経常利益・純利益において予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想については、経営環境が不確実なことから、本格的な復興需要による輸送量の増加は新年度に入ってからとの見通しから、通期の利益予想を修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上